国分中学校　校長室だより

第３号
令和元年６月２５日（火）

集団の中で育つ個々の力

６月 20 日、地震を想定した避難訓練　命を守る訓練です。

例年よりも入梅が遅い「水無月」。
G20 を控える中、危機管理が問われる事件が続いています。
学校現場においても、「もしも」「まさか」に備え、正しい情報をいち早く共有することが求められています。

長崎修学旅行、奈良校外学習、洞川宿泊学習を無事に終え、各学年ともクラスの信頼関係がより一層強くなりました。

「みんなで成功させよう！」
集団の一員としての個々の生徒たちの責任感と、他者への思いやりも随所に見ることができた体験学習でした。
体験を通してつけた力を、日々の授業やクラブ・生活で活かそうとする一人ひとりの意欲が嬉しいです。

26日からの、期末テストに向けて、ベストを尽くして臨んでほしいです。

２年生　始業前自習会
落ち着いた雰囲気が個々の意欲を育てます

毎月曜日の集会　みんなでつく安心安全る落ち着いた学校の週とて

授業風景

１年　国語（書道）

２年　美術

３年　体育

「この一時間の授業のめあて」を明確に理解すると、生徒たちのいきいきとした活動が展開されます。班やグループで互いの学習活動を支えます。そして、授業の最後に「ふりかえる」ことで、生徒たちの達成感が共有され次への意欲につながります。

☆トピックス

３ 年生保護者対象進路説明会
保護者の方々の熱意がありがたいです！

６月２日（日）学校周りの地域清掃。地域に貢献する国中をめざします！

道徳の教科化

・・今年度から実施です

６月１７日　３年１組
「生き方を考える道徳の授業とは」
「生徒も教師も同じ人間として深く共感できる授業とは」・・国分小、国分東小の先生方も参加しての道徳の研究授業。　担任だけでなく、すべての教員で行う道徳授業。教科のときとは違う先生の「問い」も新鮮です。
じっくり考え、友達の意見にうなづく、最後は自分の生きかたを見つめる素敵な授業でした。

生徒の感想

・今日は、「生きる」という事について学びました。主人公の麻衣さんが、決してあきらめずに生きていこうとしていることが良かったです。大きな障害で何もかもが絶望的で「死にたい」と思っていた麻衣さんがある秋の日の「美しい景色」を見て「生きよう」と思ったところがすごいと思います。
・今日の授業であたりまえに「生きる」ということは「死んでしまうくらいの何か」にあたらないと気づくのが難しいものなんだと感じた。・・・私も中三でこの時期、しんどくなることがたくさんあっても、麻衣さんのように生きる喜びを感じ、前向きな姿勢でがんばっていきたいです。
・この授業を受けて、辛いことの先には、自分が成長できるようなことが待っているんだと思いました。生きることを選んで退院してひまわり畑を見たときに麻衣さんは「私もひまわりみたいに堂々と生きようと改めて思ったと思います。私も、麻衣さんみたいに辛いことがあっても乗り越えることができる人になりたいと思いました。

研究授業のあと、「よりよい道徳授業のためには」と教員研修を実施しています。